

Title	大正期大阪の社会事業ネットワーク：史料・岡山孤児院大阪分院週報
Sub Title	A network of social works in Taisho Japan : the weekly report of Osaka Division of Okayama Orphanage
Author	小野, 修三(Ono, Shuzo)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2002
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 社会科学 No.12 (2002.) ,p.1(108)- 39(70)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10425830-20020000-0108

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

大正期大阪の社会事業ネットワーク

史料・岡山孤児院大阪分院週報

小野修三

解題・凡例

一、本稿は社会福祉法人石井記念友愛社・石井十次資料館の所蔵する資料の一つで、その表紙に「自大正三年八月 至大正五年五月 大阪分院週報」と毛筆で記され、その表紙を含め計八〇枚の用紙が一束に括られた書類の複写物を起したものである。

二、この複写物は本稿の筆者小野が、石井十次研究会の菊池義昭氏（共栄学園短期大学）より借り受けたもので、今回社会福祉法人石井記念友愛社理事長児嶋草次郎氏の許可を得て本紀要に掲載するものである。

三、この複写物「大阪分院週報」は石井十次研究会が監修された「石井十次資料館蒐・所蔵資料仮目録 簿冊文書の部」（二〇〇一年三月三十日 印刷）のなかでは、文書番号 A-7-80として整理分類されている「岡山孤児院大阪分院週報」に相当すると思われるが、同仮目録によると、これは二十五枚の資料とある。枚数が厳密には合致しないのは、葉書の場合には表裏を各一枚計二枚複写しているの、当然ではあるが、しかしこの場合には余りに異なるので、目録上のものと貸与いただいた複写物とは同一内容ではないのかも知れない。

四、この複写物の原本は、石井記念友愛社理事長児嶋草次郎氏の御尊父の故児嶋熾一郎氏が、今日石井十次資料館に所蔵される形に保存書類を分析整理され、タイトルと日付を明記した表紙を付けて、一束に括られたものと推量される。

自大正三年八月
至大正五年五月

大阪分院週報

五、「大阪分院週報」には、表紙に記されている通り、大正三年八月から大正五年五月までの岡山孤児院大阪分院の一週間単位の活動報告が収録されている。より正確に言えば、この「大阪分院週報」には最初の方で週報ではなく日誌と題された文書が入っているが、それは単に日誌という呼び方で週報に相当するものが当初は作成されていたということではないだろうか。また最後の方では旬報とか半月報と記されたものも含まれており、それは実態がそのように変化したためであり、これらの点はそれぞれ確認出来るように表記した。

六、右の「石井十次資料館蒐・所蔵資料仮目録 簿冊文書の部」によれば、同じ大正三年八月に岡山の本部も、またもう一つの分院の茶臼原でも週報を開始していることがわかる。つまり、この時期から三つの機関の間での定期的な情報のやりとりの必要性が認識され、大阪からは本部の岡山宛と分院の茶臼原宛の二通の報告書が作成されていたことになる。その意味で、本書はそのどちら宛てのものも収録したもののかに関しては、この「大阪分院週報」の複写物を見る限りでは、日向國兒湯郡茶臼原孤児院に宛てられたものと確認出来る葉書が途中何枚も見られ、それらに関してはその旨注記した。一方、本部たる岡山孤児院に宛てたものがどれであるかに関

する確認は、この複写物を検討するだけでは不可能だった。また、本文冒頭の挨拶文のなかに「御院週報」という個所が見られるが、それが岡山の本部を指すのか、それとも茶臼原を指すのかは、この文面からだけでは判断出来ない。勿論、常識的にはどちらに送った報告書も同一内容と考えられる。

七、この文書はいくつかの種類の用紙に、毛筆にて書かれたものも四枚混じっているが、あとはすべてペン書きされたものであった。その用紙としては市販の半葉十二行で二つ折りにされた罫紙の場合が最も多く、次いで岡山孤兒院大阪事務所便箋とその上部に印刷され、さらにその左脇には府屬愛染橋夜學校と印刷された全葉十行の罫紙、また半葉十一行で二つ折られ、その中央余白に岡山孤兒院大阪事務所ないし単に岡山孤兒院と印刷された罫紙が使われ、そして官製葉書に記されたもの、さらには丹平製剤特約店便箋と印刷されたものも利用されている。これらの区別は本稿においては特に記すことはなかった。なお、岡山孤兒院大阪事務所便箋とその上部に印刷された用紙には、大阪事務所の所番地として大阪市南區日本橋筋二丁目とあり、愛染橋夜學校のそれとして大阪市南區下寺町四丁目愛染橋西詰とある。

八、表記の際にはなるべく原文通りを心掛け、例えば夜学校（夜学校）、保母（保母）と付記した。また日付に関して（〜）として掲げてあるものは、原文にはなく、注として今回入れたものである。また、本文中で順序が誤って配置されたと判断される個所は順序を正した。その際には、その旨を注記している。また、読み易さを考慮し、句読点を加えた個所がある。また、明らかな誤字の個所には、括弧で正しい漢字を併記した。そして複写物の状態等により判読不能の場合には口とし、横に（不明）とルビを振った。

九、この「大阪分院週報」が誰の手によって執筆されたかの論証は出来ていないが、文面から見て書き手は大阪分院の中心にいて事情を最もよく把握していた、そして本記録で「富田事務員」と記されている、その富田象吉に間違いない。（但し途中で筆跡が明らかに変わる個所が一部あるので、実際の書き手は富田だけではなかった。）最後の方では富田教師とも書かれる富田は、ここでは彼の日記ではないので、自分のことを第三人称で書くことになるが、岡山孤兒院大阪分院の活動はすべて富田がその第一人称で書いてもおかしくないほど、その中心にあったことが窺える。

一〇、本記録によってわれわれは岡山孤兒院大阪分院の活動実態とともに、同分院を中心として大正期大阪の地に張られていた「社

会事業ネットワーク」の厚みをも知ることが出来る。そしてそのネットワーク化の進展と大正二年四月に大阪府に救済事業指導囑託として赴任して来ていた小河滋次郎との関係を知る上でも、この記録は意義深いと考えられる。本稿を「大正期大阪の社会事業ネットワーク」と題したのは、そうしたより広い文脈の中で岡山孤児院大阪分院を理解しようとする意図があるが故であった。また大阪における社会事業の展開過程ということでは、本記録以前の明治期の大阪分院日誌が参照される必要があるが、その作業は本稿の続編として現在準備中のものである。

一一、人名に関しては、岡山孤児院が当時孤児として受け入れた人たちは、プライバシー保護のため氏名をすべて□□□□□□の形で伏字とした。また地名に関しても一部伏字にした。地名の場合にはその旨ルビを振って示した。どの氏名・地名が伏字に該当するかの判断は本文の文脈から行なったが、同時に石井記念友愛社理事長児嶋草次郎氏および菊池義昭氏に監修を頂いた。また判読の際には、慶應義塾大学文学部非常勤講師松田隆行氏に今回もお世話になった。資料の利用においてご好意を賜った児嶋氏、菊池氏また松田氏に衷心からのお礼を申し上げたい。孤児という運命のもとにこの世で生を送らねばならなかった方々が、自分たちの人権がたしかに保証されていると実感出来る日々の到来を衷心より願う次第である。

〈表紙〉

自大正三年八月
至大正五年五月

大阪分院週報

〈本文〉

〈大正三年八月〉

拝啓益々御健勝奉賀候、昨日は御院週報御送致近状相わかり感謝仕候、當分院にては別段の事無之被存共一寸御報申上置候

八月一日―八日

一、 祖母ヨリ引取方請求ニヨリ本日到着せる里子□□□□ヲ市内玉造ニ送還ス

二日 毎日新聞社經由北区上福島北一丁目(目)安田鉄工所社宅西川福馬氏ヨリ金拾五圓寄附○日向ヨリノ送還児□□、□□、□□、及郡是行□□□□の四女並ニ信永源次郎氏夜十時過到着

三日 □□及□□ノ二女ヲ夫々親族許ニ出發セシム

五日 疲労恢復セルニヨリ□□□□同伴松尾春年君郡是ニ出發女子寄宿舎八〇番ニ入社

六日 大阪慈善協会幹事会ニ富田事務員出席 幹事会ノ委託ニヨリ富田事務員愛育社行商部取調ノタメ出張

七日 大阪府救済事業研究会開催ニ付富田事務員出席

八、 大阪救済事業研究会開催ニツキ富田事務員知事官舎ニ出張 扶植会加島主事來訪

残暑仲々堪へ難ク候、皆様御健在ニ入らせられ候や御伺申上候例ニより左ニ一週分の出來事報告申上候

れ失礼仕候 富田印

十一日 救済事業研究会幹事会ノタメ富田事務員大阪府廳ニ出頭

扶植会主事加島氏來訪

十二日 □□□君一家族來泊

十三日 奈良宮脇氏來訪

柿原政一郎氏東上ノ途次寄阪

十五日 米屋損益決算会ヲ行フ

救済研究雜誌編輯会ニツキ富田事務員大阪府廳ニ出頭

日誌

十七日 救済研究雜誌記者小山氏來訪

○京都大卒卒業ノ婦途手塚麒一君來訪

十九日 理事更新ノ挨拶状ヲ發送ス

○時局ニ関スル失業者及貧困者ノ慰問及調査並ニ救済ニ関シ大

阪府廳ニテ懇談会開催富田事務員出席

二十日 兼而出願中ノ夜学校公認ノ件本日許可ノ通知來ル

二十一日 大阪職業紹介所主事八濱徳三郎氏來訪

二十二日 大阪府屬林作治郎氏來訪

× ×
小生豚兒病氣ノタメ三四日堺ニ逗留致し居、其タメ通信相後

日誌

廿五日 ライオン慈善券四千八百枚ノ引替ヲライオン大阪支店ニ

請求ス

廿六日 富田事務員大阪府廳ニ出頭

廿七日 □□子婦原ノ途次一泊

金田桑子姉東京ヨリ帰岡ノ途次一泊

廿八日 □□子日向ニ出發

廿九日 時局ニ関スル救済問題研究会開催富田事務員知事官舎ニ

出席

○夜学校教師一名退職ニツキ井上長年氏令息重信君ヲ教師トシ

テ招聘スルコト、定ム

○大阪婦人ホーム主宰林依子姉危篤ニツキ見舞ニ赴ク

日誌 三十一日―五日

三十一日 事務相談ノタメ富田事務員倉敷ニ出發

○福井玉子全鶴子女子病軀ニ堪ヘズトテ辭職申出ラル

○夜学校新任教師井上信重君來着

〈大正三年九月〉

- 一日 高塚章子子ヲ保育所保母ニ依頼ス
○兼テヨリ休暇中ノ夜学校本日ヨリ開校
○福井両女史京都へ出發（大學病院ニテ治療ノ目的ニテ）
三日 時局ノ商工業ニ與ヘタル影響及其救済方調査ノタメ府廳ニ開カレタル幹事会ニ富田事務員出席
四日 柿原君來阪 ○八月決算書ヲ本部ニ送ル
五日 慈善協会例会ニ富田事務員出席
九月六日—十二日
七日 入院願出ニ件資格ヲ缺クモノト認メ断ル
八日 救済研究会下相談会ノタメ富田府廳ニ出頭
井上長年君奈良ヨリ帰途寄阪即夜下岡
九日 鷹津君岡山ヨリ來着
十日 米屋決算会ヲ行フ純利益八月分式百七圓四十錢五厘
時局ニ関ス救済問題討議ノタメ富田事務員大阪府廳ニ開催サレタル全會議委員会ニ出席
茶臼原□□、□□両君岡山ヨリ來着
十一日 保母長招聘の要務ヲ帯ビ富田事務員京都ニ出張
□□、□□両君御陵参拝ヲ終リ神戸ヨリ帰原
十二日 救済事業研究開催ニツキ富田事務員知事官舎ニ出頭
夜学校休暇後ヲ受ケ出席少数ナルモ毎夜百七八名アリ
保育所十四五名
十三日 東北ヨリ茶臼原ニ帰還児□□□□子寄阪
○愛染橋事業ニツキ富田事務員難波署ニ出頭経営方ノ説明ヲナス
○関西汽船同盟本部ニ岩村悦郎氏（辞任）松本圭一氏（就任）ノ届出ヲナス
十四日 岡山ヨリ小野田、杉原両氏及孤児廿名日向出發延期ノ電報來ル
○富田事務員割引の件ニつき商船会社ニ出頭
十五日 小野田鉄弥氏岡山ヨリ來所其夜下岡
○□□□□子日向ニ出發
十六日 関西汽船同盟本部ニ福井多ま姉（辞任）末藤新市氏（就職）ノ届出ヲナス
○福井玉子姉ヨリ金參圓ヲ寄附セラル
○鷹津君京都ヨリ帰阪高知ニ出發
十七日 緒方博士夫人千重様永眠ニ付会葬ス鉄道院梅田駅仲仕組ヨリ金壹圓五十錢寄附
十九日 大阪府廳小山良喜知氏來訪
夜学校毎夜百八九名位（マダ出席少し）

保育所 十五六名

廿七日 保育所夜季校職員会ヲ開キ保育及授業上ニ関スル相談会ヲ催ス

○京阪神慈善事業者秋期懇話会出席ノタメ富田事務員兵庫縣宝塚ニ赴ク

廿八日 貧児收容方願出一件

救済研究会ノタメ富田事務員府廳ニ出席

廿九日 用務ヲ帯ビ富田事務員松岡弁護士ヲ訪問ス

三十日 倉敷ヨリノ電話ニヨリ富田事務員早朝下倉

〈大正三年一〇月〉

一日 富田事務員帰阪

○府下豊崎町書記吉川撲氏棄児收容方依頼ノタメ來所

○救済研究者小山良喜知君來訪

○奉公児□□□子來所

二日 用務ヲ帯ビ富田事務員大阪区才判所ニ出頭

○府箕面村阿部克太郎氏ヨリ金五十圓寄附

○東区広小路松久保氏ヨリ子供古着及玩具ヲ寄附セラル

三日 光延氏來訪、救済研究者小山君來所

大阪分院週報（十月四日―十日）

四日 西店振出約束手形事件ニツキ大阪区才判所ニ大原理事ノ假

住所届ヲ差出ス

○府下豊崎町役場ヨリ依頼ノ棄児□□□□（三才）ノ戸籍謄本ヲ本部ニ送ル

○事務所保育所夜季校販賣部ノ職員相談会ヲ開ク

○阿部克太郎氏御寄附（五十圓）ニ對スル礼状發送ヲ本部ニ委託スルタメ印刷端書百一枚ヲ岡山ニ送ル

五日 救済研究会ノ要務ヲ帯ビ富田事務員大阪府廳ニ出頭

○身分証明書ヲ得ルタメ富田事務員大阪市役所ニ出頭

○永眠紀念御寄附ニ對シ写真帖一冊ヲ阿部克太郎氏ニ贈呈ス

○鷹津事務員京都ヨリ帰阪即日日向へ出發

○緒方家ヨリ夫人千重子様永眠紀念トシテ金五十圓御寄附ノ旨通知來ル

○汎愛扶植会加島氏來訪

○西脇對本院約手事件ニツキ來ル十二日午前九時第三号法廷ニ出頭スベキ旨区才判所ヨリ通知來ル

七日 兼テヨリ探索中ナリシ清原寅之助氏居所漸ク判明ス

○救済研究会幹事会ノタメ富田事務員大阪府廳ニ出頭

八日 貧児入院方申込一件

○九月分決算書ヲ本部ニ發送ス

○裁判事件ニツキ八十川寛氏ヲ訪問ス

九日 約手事件ニツキ債権者西脇氏ヲ天下茶屋ニ訪問ス

○兼テ内報アリタル緒方家ヨリ永眠紀念寄附五十圓ヲ拝受ス

十日 約手事件ニツキ西脇氏ヲ訪問談判経過良好ノ望之アルニヨ

リ更ニ弁論期日ヲ延期スルコトニ合意ス

○本部ヨリ孤兒院贈本到着

○豊崎町役場ヨリ棄兒十五日過送致スヘキ旨申來ル

○時局調査委員会開催、職工待遇ニ関スル建議案審議ノタメ富

田事務員知事官舎ニ出席

○午后救済事業研究会開催高洲博士ノ講演アリ富田事務員出席

○大原理事ヨリ富田事務員ヘ証明書到着

○保育所出席児童少数

○夜学校毎夜百十二三名位

大阪週報（十月十二日—十七日）

十一日 大原理事ヨリ延期申請書到着

○約手事件延期ノ件ニツキ債権者代理伊藤、中務両弁護士ヲ訪

問シ打合ヲナス

○債権者西脇太七郎氏來訪

○保育所保母ノタメ西六幼稚園今村教師ヲ聘シ遊戯ノ講習ヲナ

ス

十二日 約手事件延期申請ノタメ富田事務員才判所ニ出頭

○岡山ヨリ御下賜金請願ニ京阪評議員ノ調印ヲ乞フタメ同書類

到着

○東区本町四丁目（目）中井氏代理寄附金ノ件ニツキ來訪

十三日 滋賀縣阪田郡息長村大字多和田□□□□三女□ノ入院

ヲ許可シ戸籍贈本ヲ岡山ニ送ル

○九月分白米販賣部損益決算会ヲ行フ、北店利益參十六圓八拾

一錢六厘、南店利益十二圓九十四錢五厘ノ利益

○京阪神見習生原簿ノ整理ヲ行ヒ原簿入退院年月日不明ノモノ

數名ノ取調方ヲ本部ニ申送ル

十四日 約手事件口頭弁論來ル二十三日マテ延期ノ通知才判所ヨ

リ到着

○白米部決算書ヲ大原理事ニ送ル

○鐘紡兵庫支店在勤清原吉子姉ニ對シ西脇氏ヘノ返済金月賦額

確定申越アリタキ旨申送ル

○約手事件ニツキ天下茶屋ニ西脇氏ヲ訪問ス

○救済研究会幹事会ノタメ富田事務員府廳ニ出頭

十五日 救済事業研究会ノ用務ヲ帶ヒ市役所ニ出頭

○清原寅之助氏來訪約手事件ニツキ協議ヲナス

○例月ノ通見習生ノ見廻ヲナス

十六日 約手事件ニツキ清原氏同伴天下茶屋ニ西脇氏ヲ訪問シ交渉ノ結果、先方ニテモ孤児院ノ事情ヲ諒トセラレ兼テノ申込通孤児院ヨリ債務額半額即チ百五十圓ヲ代弁シ残額百五十圓ハ院ト無関係トナシ清原ヨリ月賦ニテ返済スルコト、定メ示談トナスコト、合意決定セリ

○右件ニツキ豊後武莊町清原氏親元ニ對シ借用連帶証差入ラレタキ旨申送ル

十七日 大阪慈善協会月例会審査會當事務所ニテ開會、時局ノタメ寄附金少ナク何レモ經常費月々不足シ居ルヲ以テ府廳ニ對シ此際藤田慈惠基金中ヨリ各團體ニ對(シ)補助アリタキ旨ノ請願書差出コトヲ協議シ至急申達方取計フコトヲ合議ス

○救濟研究記者小山良喜知氏來訪

○夜学校保育所別ニ変リタルコトナシ

○大阪府屬林氏來訪

○入院兒□□□ヲ岡山ニ送ル

大阪分院週報(十月十八日―廿四日)

十八日 大阪府廳内救濟研究会記者小山良喜知氏來訪

△大原理事ニ弁論期日變更申請書ヲ送り調印ヲ乞フ

○△入院方申込アリタルニヨリ富田事務員出張調査ヲナシ結局収容事由ナシトシテ断ル

△大阪補助金請願ノ件ニツキ富田事務員谷頭氏ヲ訪問

十九日 入院兒□□□ヲ岡山ニ連行セル井上信重君本朝帰阪

△兼テ大阪府慈善協会ニ對シ寄附金ノ申入アリタルモ其後何等の沙汰ナキニヨリ慈善協会ヲ代表シ富田事務員東区本町四丁目(目)中井氏ヲ訪問シ寄附金勧誘ヲナス △富田事務員大阪府廳ニ出頭

二十日 御下賜請願書ニ調印ヲ乞フタメ富田事務員垂水田村評議

員ヲ訪問シ神戸ニテ調印ヲ受ク △大原理事ヨリ口頭弁論延

期申請書到着 △救濟研究会ノ要務ヲ帯ヒ富田事務員府廳ニ

出頭

二十一日 救濟研究雜誌記者小山良喜知氏來訪 △入院申込ア

リタルモ調査ノ結果無資格トシテ断ハル △御下賜金請願書

ニ谷本博士ノ調印ヲ受ク △御亡父亀吉様御遺志ニヨリ金壹

千圓ヲ慈善協会ニ寄附セラレ其割当金貳百圓ヲ貧兒教養基金ト

シテ当分院ニ寄贈セラル △富田事務員博愛社訪問

二十二日 清原振出約手事件ニツキ府下天下茶屋西脇氏來訪、

愈々示談トナシ訴訟取下ノコトニ合意ス △寄附金謝礼ノタ

メ富田事務員中井様ヲ訪問シ靈前ニ写真帖ヲ呈ス △郡是製

糸会社□□□□ヨリ近況通信アリ健康ニテ勤務シ由

廿三日 兼而問合中ナリシ當地見習生□□籍入退院日不明の分本部ヨリ回答來ル ○△清原約手事件愈々示談済トナリ当事務

所ヨリ半額即チ百五拾圓ヲ提供シ残額ハ清原個人の負債トナシ同人ヨリ証書ヲ届入シメ事件ヲ終了ス △訴訟取下協議ノタ

メ債権者代理人伊藤、中務両護士ヲ富田事務員訪問ス △訴訟取下書ニ調印ヲ乞フタメ同書類ヲ大原理事ニ送ル △京都折

田評議員本月二日ヨリ御旅行二十三日頃帰京ノ筈ナリシヲ以テ本日富田事務員京都ニ出張、御下賜金請願書ノ調印ヲ乞ヒタ

ルモ未ダ帰京ナキタメ未済の俣帰阪 △評議員カルテス氏ノ調印ヲ受ク △京都奉公兄ノ見廻ヲナス(序ヲ以テ)

二十四日 元保育所保姆福井鶴子姉來訪多ま姉其後容態少シク不良ノ由(同姉ハ京都大原病院ニテ治療中) △不正振出約束

手形金立替支拂百五十圓ニ對シ清原夫婦ヨリ借用証書ヲ届入レシメ大正四年一月ヨリ月賦償還ノコト、定ム

○◎夜孝校毎夜出席百十五六名内外。保育所十四五名

大阪分院週報(廿五日―三十一日)

廿五日 大原理事ヨリ本院對西脇事件ニ関スル訴取下書到着即時

伊藤弁護士ニ送達ス

廿六日 約手事件訴取下トナリタル旨伊藤弁護士ヨリ通知來ル

○大阪府中務部長ヨリ保育所夜孝校現在兒童數至急報告アリタキ旨ノ通牒來ル

廿七日 兼而豊崎町役場ヨリ依頼シ來レル棄児□□□□引取人出來セルニヨリ収容方中止トナル

○大阪府廳ニ對シ左ノ通り報告ス
愛染橋夜孝校在籍生百四十三名、十月一日ヨリ二十六日迄平均一日出席生百六人一分

愛染保育所平均來所兒童十八名
○救済研究会ノ用務ヲ帶ビ府廳ニ富田事務員出頭

廿八日 府廳ヨリ喪中ニ付天長節前ニハ別ニ式ヲ行フヲ要セストノ通牒來ル

○救済研究会雜誌記者小山良喜知氏來訪
廿九日 清原氏ヨリ差入レタル百五十圓ノ証書ヲ本部ニ送ル

○救済研究会宇野慈善資金施與方申出アリタルニヨリ実地調査ノタメ富田事務員南区木津町ニ出張

三十一日 夜孝校生徒ノ写真撮影ヲナス

○御下賜金請願書ニ調印ヲ乞フタメ京都ニ折田評議員ヲ訪問ス

○府屬林作治郎氏救済研究会ノ用務ヲ帶ビ來訪サル

○京都ニ福井玉子姉ヲ見舞フ病状ニ変化ナキ由ナルモ切解手術

ノ必要ナル由語ラル

○十一月一日古村夫人女子ヲ分娩セラル

〈大正三年一月〉

大阪分院週報(十一月一日―七日)

一日 御下賜金請願書調印済トナリタルニヨリ本部ニ返送ス

○本部ヨリ荷車自轉車ノ徵稅令書到着 ○大阪府屬林作治郎氏救濟研究会ノ用務ヲ帶ビ來訪 ○日向ヨリ□□□□氏ニ伴

ハレ□□□□、□□□□の着阪

二日 收容児□□□□、就籍ノ件ニツキ本部ヨリ照会來ル

○救濟研究会記者小山良喜知氏來訪 ○□□□□戸籍ノ件ニ

ツキ奈良縣郡山町□□(地名)娼妓□□□□(母)に對し□□□□戸籍

至急送附スベキ旨申送ル

三日 □□□□戸籍ノ件ニツキ曾根崎警察署長ヲ訪問ス ○□□

□□□□ヲ児島虎次郎氏方ニ出發セシム ○十月分決算書ヲ

本部ニ送ル ○参考ノタメ本部ニ□□□□ノ戸籍謄本送附

アリタキ旨申送ル

四日 南区御藏跡町□(地名)番地□□□□ナル者無籍女兒(当才)ヲ知

人ヨリ預リ居リタル所預人逃亡シタルニヨリ途方ニ暮レ右女兒

引取方ヲ依頼シタルモ無籍ナルヲ以テ引取カタク事情甚ダ愍然

ニ付金式圓ヲ與ヘテ救助ヲナス

○本日保育所ノ撮影ヲナス ○児島氏ヨリ□□□□安着ノ
報來ル ○□□□□預兒無籍女兒ノ件ニツキ富田事務員市救

恤課ニ出頭

五日 救濟研究雜誌ノ編輯並ニ府下優良慈善善團體同盟會設立ノ

用件ニツキ小河博士邸ニ委員會開催富田事務員出席 ○兼々

大阪府ニ對シ補助金請願書ヲ差出シ置キタル處今回六千圓ヲ各
慈善團體ニ下附アルベキ旨内報アリ

六日 本部ヨリ□□□□の戸籍謄本到着 ○救濟事業研究会ノ

用務ヲ帶ヒ富田事務員大阪府廳ニ出頭 ○慈善協會月例会大

阪婦人ホームニ開催富田事務員出席

七日 北店得意先他債權者ヨリ差押ノ處分ヲ受ケタルモノアルニ

ヨリ賣拭代金拾圓七拾式錢ノ優先配當加入請求ノタメ富田事務

員北執達吏役場ニ出頭 ○車稅ノ件ニツキ富田事務員北区役

所ニ出頭 ○市政調査会山崎楠馬氏貧民狀態取調ノタメ來訪

○出身者□□□□氏日向ニ出發歸國

保育所未タニ適當ナル主任保姆ヲ得ズ從テ預兒童數少數毎日十

四五人位

夜学校毎夜百十名内外

大阪分院週報（十一月八日―十四日）

八日 救済研究会一年紀年会並救済研究雑誌ノ改善ヲ期スルガタ

メ新旧幹事会開催富田事務員出席

九日 本日ヨリ餘暇ヲ以テ大阪市内年掛賛助金ノ集金ニ着手ス

○保育所夜学校ノ写真ヲ本部及茶白原ニ送ル ○京都□□□□

□氏來訪、大阪ニ移轉ノ希望アル由ナリシモ景氣回復迄見合セラル方ヨロシカルベキ旨申置

十一日 大阪府屬林作治郎氏研究研究会ノ用務ヲ帯ビテ來訪

○新版「現在ノ岡山孤兒」四百部ヲ本部ニ請求ス（賛助會員ニ配布ノタメ） ○学校兒童中至極困難者ト思ハル、家庭ノ訪

問ヲナス

十二日 南区下寺町桑田鹿松氏來訪 ○柿原君來所即時帰岡

十三日 本部ニ南北両米店半期分勘定書（四月ヨリ九月マデ）ヲ

送ル、此間純利益総計四百三拾六圓八拾七錢一厘アリ ○奉

公兒ノ巡回監督ヲナス ○佐久間武男君來訪（住所西区土佐

堀三丁目（目）四十三）

十四日 保育児家庭訪問ヲナス ○鴻池銀行重役芦田順三郎氏

ヨリ嘗テナシタル寄附金申込総額及コレ迄ニ支拂ヘル金額総高取調方申聞アリタルニヨリ本部ニ移牒ス ○今日迄ノ成績ニ

ヨレハ從來賛助員ニシテ今年限若クハ全ク謝絶サル、向比較的
多ク例年ニ比シ不結果タルベキ恐レアリ

大阪分院週報（十五日―二十二日）

十五日 白米販賣店十月分決算会ヲ行フ北店七拾六圓四拾參錢九

厘、南店三拾三圓七拾九錢五厘、合計百拾圓二拾三錢四厘ノ純

利益アリタリ ○今村西六幼稚園教師ヲ聘シ幼児遊戯講習ヲ

保育所保母ノタメ開ク ○茶白原ヨリ帰途並川源三郎氏夫妻

來訪 ○米店決算書ヲ本部ニ送附 ○関谷町旧米店什器ノ

一部ヲ矢吹氏ニ賣却ス

十六日 救済研究会幹事会開催富田事務員府廳ニ出席 ○米店

四月ヨリ九月ニ至ル半期分決算書調印ノ上本部ニ送附

○十七日 幻画二箱ヲ茶白原ニ郵送ス。東区玉造福田亀治郎氏來

訪 ○養女貰受申込一件

○病者ニ慰問ヲナス

○十八日 天皇陛下日本橋筋御行幸 ○富田事務員打合ノタメ

府廳ニ小河博士ヲ訪問ス

○堺市特別同情家万代幾太郎氏ヨリ賛助員脱退ノ旨通知來ル

○十九日 島根縣松江市大字松江^一□□□□^二□□□□^三□□□□^四ノ救助ヲナス

○佐久間旧事務員就職方ノ件ニツキ來訪

○二十一日 住友福井珍彦氏ヨリ賛助員退免通告來ル ○研究
会ノタメ富田事務員知事官舎ニ出席 ○府廳小山良喜知氏救
濟研究雜誌ノ件ニツキ來訪

大阪分院週報 (廿三日—二十九日)

廿三日 (月) 小野田鎮、立山春吉両氏ノ異動届ヲ関西汽船同盟本
部ニ差出シ其旨ヲ本部及茶臼原ニ通達ス、救濟研究会記者小山
良喜知氏來訪

廿四日 北区西区南区賛助員手續ノ整理ヲ行フ、夜学校教官ノ件
ニツキ南区役所ニ出頭

二十五日 (水) 大阪府衛生會ヲ訪問ス。大阪府廳小河博士室ニ出
頭。下駄職小僧雇入希望申込一件、救助願出一件。

廿六日 (木) 十一月分集金賛助金振替傳票ヲ本部ニ送附 ○保
育所修繕並ストーブヲ購入据付ヲナス ○本日ニテ東区賛助

金集金大約終了ス

廿七日 (金) 岸和田賛助金集金ノタメ同地ニ出張

廿八日 (土) 濱寺賛助金集金ノタメ高塚氏同地ニ出張

○大阪府廳ヨリ大正三年度慈惠救濟基金中ヨリ夜学校ニ對シ補
助金ヲ下附スヘキニ付三十日府廳ニ出頭スベキ旨通牒來ル

夜学校毎晩出席生徒數百十八九名位。保育所出所兒童毎日十三
四名位。

大阪分院週報 (三十日—五日)

三十日 大正三年度大阪慈惠救濟基金中ヨリ愛染橋夜学校ニ對シ
金百圓交附スベキ通牒アリ、富田事務員府廳ニ出頭知事ヨリ令
書ヲ受ク

○脚氣ニテ婦郷療養中ナリシ□□□子全快上阪ス ○本日
より北区賛助金集金ニ取カ、ル

〈大正三年十二月〉

一日 慈善事業相談會ノタメ富田事務員出席

二日 福井玉子姉來訪、病氣従前ト別条ナキ由、親屬ノ承諾ヲ以
テ手術ヲ受ケラル、見込ノ由

○佐久間武男氏來訪、就職ノ件ニツキ八濱氏ヲ訪問ス

三日 阪神児道(童) 賛助金手續本部ヨリ到着 ○十一月分決

算書ヲ本部ニ送附ス ○小河博士訪問 ○餅米仕入ノタメ

臨時五百圓販米部ニ融通アリタキ旨大原理事ニ申送ル

四日 博愛社林氏來訪 ○保育所竹垣(長サ十五間) 朽敗セル

ニ付修繕ノ見積ヲナサシム

○貧児收容申込一件アリタルモ資格ナキモノトシテ断ル

五日 大阪職業紹介所主事八濱徳三郎氏來訪、大阪附屬林氏來訪

○本日迄ニテ北区賛助集金大半ヲ終了ス ○奉公児巡回ヲ行フ

○夜季校出席數平均百十四五名。保育所十三四名。

大阪分院週報（十二月六日—十二日）

六日（日）兼而令書交附相申居リタル大阪府慈惠基金百圓ノ支拂

命令書到着 ○大阪市役所ヨリ東区今橋五丁目（目）十二吉

田きと殿ヨリノ遺言寄附分配額拾圓交附致ヘキニ付七日出頭ス

ベキ旨申來タル ○高塚氏令息病氣ノ電報ニ接シ門司ニ出發

七日（月）大阪府慈惠基金百圓ヲ府ヨリ受領ス。本日ヨリ西区贊

助金集金ヲ開始ス

八日（火）寄附金謝礼ノタメ東区今橋五丁目（目）吉田様内へ赴

ク ○市役所ニ差出スヘキ寄附金領収證調印ノタメ理事宛書

状ヲ差出ス ○貧児收容方申込一件アリタルモ断ハル ○

出身者□□□□求職ノタメ岡山ヨリ上阪 ○本部ヨリ餅米仕

入金當方ニテ調金スベキ旨回答來ル。

九日（水）送還児□□□□兄弟旅費金ノ中六圓本部ヨリ送金

○□□□□電車運轉手志願ノタメ市電事務所ニ願書ヲ差出サシ

ム ○大阪ホテルニ於ケル生江内務省囑托歡迎会ニ富田事務

員出席

十日（木）慈善協会例会ニツキ富田事務員大阪養老院ニ出席

十一日（金）柿原君來阪 ○高塚氏門司ヨリ帰阪

十二日（土）賣笑婦問題研究ノタメ富田事務員知事官舎ニ出席

大阪分院週報（十四日—十九日）

十四日（月）昨日來阪ノ蜂谷事務員賛助集金ノタメ摂津三田地

方へ出張 ○米屋決算会ヲ行フ、北店拾壹月分利益七拾貳圓

參拾九錢、南店利益式拾五圓拾五錢、合計九拾七圓五拾四錢

○上阪中ナリシ百田君帰岡 ○一宮救世軍中將訪問

十五日（火）富田事務員市役所ニ出頭 ○米屋決算書ヲ本部ニ

送ル

十六日（水）救済研究会問題打合ノタメ富田事務員府廳ニ出頭

○貧病者ノ家庭訪問ヲ行フ

十七日（木）柿原君上阪中ノ理事ニ面会ノタメ着阪即日帰岡

○市役所ヨリ兼而通知アリタル東区今橋五丁目（目）吉田きと

様ヨリノ寄附金式拾圓ヲ受領ス ○救済研究会幹事会開催富

田事務員出席

十八日（金）大阪市役所ニ事務所移轉ノ通知ヲナス ○鷹津君

來阪 ○貧兒救済申込一件 ○徒弟雇入申込一件 ○小河博士ヲ訪問ス

十九日(土) 北区中島二丁目(目) 百十三久原フミ様ヨリ御亡父

庄三郎殿年忌ニ付金貳千圓市役所へ依托右分配金五十圓當分院

へ交附ノ旨通知アリ ○今日迄ニテ東区北区西区ノ賛助金集

金ノ大体ヲ終ル ○夜学校年末夜業ノ關係上平均出席者百三

四

(大正四年一月)

大阪分院週報

四日 留岡幸助氏歡迎会列席ノタメ富田事務員大阪府衛生会ニ出

頭 ○林府屬來訪

五日 本日ヨリ保育所ヲ開始ス

救済事業研究会幹事会開催富田事務員大阪府廳ニ出席

入院児申込一件但シ救済ノ必要ナシトノ見込ニヨリ断ハル

六日 約翰李園理事早川牧師來訪

八日 本日ヨリ夜学校ヲ開始ス

婦岡中ノ井上重信君上阪

下女申込一口

九日 慈善協会月例会約翰李園ニテ開催

院内教養ト院外教養ノ可否及慈善團體ニ於ケル娛樂ノ種類ニツキ研究会ヲ開ク

大阪市弘済会主事來訪

大阪分院週報(十七日—二十三日)

十七日(日) 奉公児申込二件

十八日(月) 兒童李会開催富田事務員出席

○入院申込一件但シ無資格ニシテ断ハル ○小山救済研究雜

誌記者來訪

十九日(火) 米店十二月分損益決算会ヲ行フ、毎度渡下リヲ受ケ

タルニヨリ各店トモ利益少シ、北店利益壹圓七拾一錢、南店利

益九錢五厘

○本院奉公児巡視ヲナス ○林大阪府屬來訪

二十日(水) 米店決算書ヲ本部ニ送ル、病児ノ家庭訪問ヲナス

廿一日(木) 救済研究会記者小山氏編輯打合ノタメ來訪 ○茶

臼原へ送金スヘキ三十四銀行小切手七百圓本部ヨリ到着 ○

入退院児表本部ヨリ到着 ○兼テヨリ世話シ居リタル出身者

□□□□當地利テ到底就職ノ見込ナキニヨリ京都ノ知人ヲタヨ

リ小使金ヲ與ヘテ同地ニ出立セシム

廿二日(金) 七百圓小切手ヲ正金ト換へ更ニ日向銀行宛銀行小切

手ニテ茶臼原へ送金 ○二月二日ヨリ大阪府主催ノ下開會セラルベキ関西感化院會議及救済研究会講演會ニ関スル打合ノタメ幹事會開催、富田事務員大阪府廳ニ出頭
廿三日(土) 関西感化院長歡迎會兼京阪神慈善業者懇話會開催ノタメ委員會開會富田事務員出席、女子奉公申込一件

大阪分院週報

二十五日(月) 茶臼原孤兒院ヨリ故院長一周年紀念會案内状來ル御下賜金報告旁御札ノタメ富田事務員京都ニ赴ク

二十六日(火) 関西感化院長歡迎會打合ノタメ富田事務員博愛社ヲ訪問
○救済事業研究会ノ件ニツキ小河博士ヲ府廳ニ訪問ス ○入院申込一口但シ謝絶

二十七日(水) 見習生巡視ヲナス ○病児治療方ニツキ濟生會ヲ訪問

二十八日(木) 御下賜金報告及調印謝札ノタメ田村谷本兩評議員ヲ訪問ス ○三十日執行ノ故院長一周年紀念會ノ件ニツキ案内状ヲ市内見習生ニ發送ス

二十九日(金) 府廳ニ小河博士ヲ訪問ス ○孤兒院南店營業稅免除ノ件ニツキ富田事務員南稅務署長ヲ訪問ス、懇談ノ結果便

益ノ取扱ヲナスベシトノコトニテ立歸ル

三十日 本部ヨリ現在院兒表到着 ○保姆申込一口 ○小山、林大阪府廳屬救済研究会ノ件ニツキ來訪 ○故院長一周年紀念會ヲ事務所ニテ執行三十名出席嘗テナキ心靈的會合ニテ互ニ感話ヲナシ夜十時半閉會

(大正四年二月)

大阪分院週報

一日 府立修德館第七回開館紀念會ニ招待セラレ富田事務員出席

○奉公兒□□□叔父死亡ニ付會葬ノタメ郷里ニ歸ル

二日 京阪神救済事業者主催関西感化院長招待會開催ニツキ富田事務員出席

○入院兒申込一名

三日 決算書ヲ本部ニ送ル

四日 本部ヨリ現在院兒表到着

大久保知事招待ニヨリ富田事務員救済研究会幹事トシテ知事官舎茶話會ニ出席

五日 研究会開催ニツキ知事官邸ニ出席

茶臼原ヨリ送還兒□□兄弟、□□□□、□□□□無事到着

六日 本多夫婦來訪 ○奉公兒申込一口

七日 □□兄弟及□□□□ヲ夫々郷里ニ出發セシム但シ念ノ爲メ
先方江打電シ且ツ二本松及仙台警察署ニ對スル保護願書ヲ持參
セシム

〈大正四年二月八日消印、茶臼原孤兒院宛葉書〉

(注記・左の七日から十三日までの個所は、原文では三月分として扱われて、三月一日―七日分の次に置かれていたが、文脈から、また葉書の消印の日付によって、二月七日から十三日までの報告であることが窺われるので、掲載位置をここに移動させた。)

大阪週報 七日―十三日

七日 □□兄弟及□□□□ヲ夫々郷里ニ出立セシム(警察署ニ對スル保護願ヲ所持セシメ)

八日 北区善源寺町高田作次郎様ヨリ金貳圓三拾七錢ヲ寄附セラ

ル
奉公尼申込一件

九日 入院児申込ノタメ樋口速水氏來訪金五十錢寄附

富田事務員大阪府廳ニ出頭

十日 日向ヨリノ送還児□□□旅費欠乏ノタメ送金方引取人□□
□□□二度同督促状ヲ發ス

富田事務員大阪市役所ニ出頭

十一日 □□□□無事安着ノ旨同人姉□□□□ヨリ申來ル、□□
結婚ニツキ同人ヨリ礼状來ル
林府屬來訪

十二日 博愛社長小橋実之助君來訪

倉掛松子姉京都ヨリ帰途來泊

十三日 西六小學校今村教師來訪

慈善協会例会ノタメ富田事務員堺ニ出張

□□□引取人ヨリ旅費送附ナキタメ旅費ヲ給與シ帰郷セシム

〈大正四年二月十四日消印、茶臼原孤兒院宛葉書〉

大阪週報 十五日―二十七日

十五日 東芦屋ニ谷本博士ヲ訪問ス、入院申込一口、東区北久宝

寺町白江規矩三郎氏ヨリ令息永眠紀念トシテ金拾五圓寄附

○米店決算会ヲ行フ、北店利益百四十八圓四錢、南店利益七

十二圓七十八錢五厘、合計貳百貳拾圓八拾貳錢五厘

十九日 出身者□□□氏來訪(當時旭川拓殖銀行勤務)

二十日 林府屬、小山救濟研究記者來訪

二十二日 送還児□□□ニ對シ立替旅費ノ督促ヲナス

二十三日 □□□□吉田石鹼製造所上海支店詰トナルニ付同人身

元引受ヲナス

二十四日 救済研究雑誌編輯ノ件ニツキ小山記者來訪

○送還児□□□□日向ヨリ來阪

二十五日 □□□□ヲ郷里ニ出立セシム

大阪府廳ニ小河博士ヲ訪問ス

二十七日 神戸集金中ノ蜂谷兄ヨリ集金不結果ノ旨通信來ル

二十八日 □□□□氏來訪來ル三月二日出發上海ニ向フ筈

夜学校毎晩平均百二十名内外

保育所毎日平均十五名位(大正四年三月一日消印、茶臼原孤児院宛葉書)

(大正四年三月)

大阪分院週報(三月一日―七日)

一日(月) 出身者□□□□子吉田石鹼製造所上海支店詰トナルニ

付同人身元引受其他相談ノタメ同店主來訪

○林府屬來訪 ○市内奉公児見廻ヲナス

二日(火) 茶臼原ヨリ送還児□□□□旅費不足ノタメ當事務所ヨリ

立替給與シ置キタ所着否ノ報モナサ、ルニヨリ督促状ヲ發シタ

ルニ引取人生計不如意ノタメ返金難致旨申送ル ○小山救済

研究雜誌記者來訪

三日(水) 茶臼原ヨリ返還児□□□□引取人在所不明ノタメ再ビ

歸來ス ○同人旅費調達タメニ着衣ヲ滋賀縣草津町某質店ニ

質入シ居リタルニヨリ元利金ヲ送金シ受戻ノ手續ヲナス ○

同人福島町藤金旅館ニ宿料未拂ノ俣携帶ノ行李ヲ残シ置キタル

由ニ付右送金行李還送方ヲ依頼シ送ル ○二月分決算書ヲ本

部ニ送ル

四日(木) 救済研究会ノ件ニツキ府廳ニ出頭

○事務員申込一口、奉公児男女各二名申込二口

五日(金) 收容児□□□□戸籍ノ件ニツキ同人母ヲ奈良縣郡山町

洞泉寺□□□□ニ訪ネ手續取運方ヲ嚴談ス、同人母ハ娼妓ナリ

六日(土) 富田事務員岡山ニ赴ク

七日(日) 富田事務員倉敷ニ大原理事ヲ訪問ス、兼テ逗留中ノ□

□□□□質物到着セルニヨリ本日向ニ出發

記(□□□□立替金内訳)

一 金貳圓六拾錢也 汽車賃不足ノため深津駅ニテ質入シタル(ママ)

衣類受出料

一 金拾四錢也 右書留及爲替料

一 金壹圓六拾錢也 福島町藤金旅館宿料送金

一 金拾四錢也 右書留及爲替料

一 金四圓貳錢也 日向往旅費

計 金八圓五拾錢也

大正四年三月七日

大阪南區日本橋筋貳丁目

茶臼原御中

岡山孤兒院大阪分院

電話南壹七七九番(印)

茶臼原ニ對(シ) □□□□立替旅費八圓五拾錢ノ支拂方ヲ請求

ス

十日 救世軍京都小隊長高塚氏來訪

大阪府廳ニ小河博士ヲ訪問ス

十一日 林府屬來訪。奉公兒巡視ヲナス。

□□□□荷物ヲ日向升原運送店留置ニテ發送ス

十二日 年報原稿ヲ本部ニ送ル ○救済研究会幹事会ノタメ富

田事務員府廳ニ出頭

十三日 救済研究会例会ノタメ知事官舎ニ出頭 帰還兒□□□□

子農場学校入學ヲ目的ニテ帰院ス(大正三年三月十五日消印、

茶臼原孤兒院宛葉書)

候

とみた

各位御中

大阪分院週報(十四日—二十日迄)

十四日(日) 谷町九丁目(目) 高津路加教会日曜学校四五年生一

同ヨリ保育兒ニ對シ菓子ヲ寄贈サル ○大阪市役所視察岡井

氏より夜学校參觀シ度キ旨通知來ル

十五日(月) 茶臼原へ帰還ノ□□□□子ヲ直航船ニテ出發セシム

○大津大國町□□□□(六十年) 孫生後八日のもの入院方申込

アリ母ハ盲目夫ハ逃亡家計困難の様子ナルモ今暫ク親許ニテ養

育ス可キ旨申聞ケ入院ヲ断ル

七日 富田事務大原理事ヲ倉敷ニ訪問ス

□□□□ヲ日向ニ出發セシム

八日 富田事務員大阪ニ帰着、途次里預兒の状況視察ヲナス

九日 商船会社ニ職員異動届ヲ差出ス

本部ニ□□□□周旋方断ノ書面ヲ送ル

○岡井大阪市視夜学校參觀精々調査アリ、生徒静肅ニシテ欠席者少なきに驚き居ラル

十七日(水)府廳ニ小河博士ヲ訪問シ新事業ノ件ニツキ博士ノ意見ヲ聞ク ○米店決算会ヲ行フ、正米下落ノタメ利益少シ、

両店ニテ合計利益貳圓九十八錢五厘

十八日(木)米店決算書及年報用寄附金補助金取調書ヲ本部ニ送ル ○兼而出願中ノ大正四年四月一日ヨリ大正五年三月三十一日迄ノ乗船賃金割引の件関西汽船同盟本部ヨリ許可ノ旨通知

來ル ○福井玉子姉故里ヘノ途次來泊

十九日(金)退院兒□□□再入院ノ件ニツキ大島氏來訪、高鍋安田滝江姉來泊 ○福井玉子姉久世ヘ帰國 ○救済研究会

雜誌編輯会ノタメ富田事務員府廳ニ出席

二十日(土)慈善協会例会ニ付富田事務員博愛社ニ出席 ○□□□、□□□旅費立替金拾圓茶臼原ヨリ到着

夜学校百十四五名 保育所十五六名

保育所本月ヨリ來所兒多數トナリツ、アリ

大阪分院週報

二十一日(日)救済研究会記者小山氏來訪 ○養子申込一口

二十二日(月)茶臼原ヨリノ送還兒□□□ヨリ目下東京府下南葛

飾郡砂村久在満新田村井鎌次郎ニ奉公中ノ旨及立替旅費金貯蓄ノ上返済スヘキ由申來ル ○大阪府属林作治郎氏來訪

二十五日(木)夜学校生徒ノ卒業式及修業証書授與式ヲ行フ
二十六日(金)茶臼原ヨリ□□□貯金拾五圓到着 ○幼児収容申込一口但シ断ル

容申込一口但シ断ル

二十七日(土)愛染橋夜学校ニ對シ細民教育奨励トシテ大阪市役所ヨリ金參拾圓下附ノ通知來ル

二十九日(月)大阪事業ニ関スル相談ノタメ富田事務員倉敷ニ大原理事ヲ訪問シ乳児保育貧民幼稚園、夜学校、裁縫学校及保姆養成所設置ノ件ニツキ協議ヲナス

三十日(火)富田事務員土山幸園ヲ參觀シ同夜帰阪 ○大阪府内務部ニ對シ夜学校現状ノ報告ヲナス

内務部ニ對シ夜学校現状ノ報告ヲナス

三十一日(水)大阪府廳ニ小河博士ヲ訪問シ新事業ニ對スル指導ヲ仰グ ○新建築出來上ルマデ保育所ヲ一時閉鎖スルコト、

シ本日限ニテ保育事業ヲ中止ス

(大正四年四月)

四月一日(木)富田事務員下寺町及今宮両保育所參觀、新事業設立ニ関シ候補地ノ調査ヲ行フ ○夜学校本日ヨリ新学期ヲ開始ス、新入学生徒六十名位ノ見込

二日(金)研究会記者小山氏同道泉尾愛兒園及九条保育所ヲ參觀

ス ○保育室ヲ教場トナスタメ大工ノ見積ヲナサシム ○

業主管者協議會ノタメ研究問題ヲ提出ス

救済研究会幹事會ノタメ富田事務員大阪府廳ニ出席

○夜学校毎晩出席児童數百四十名

○綾部の玉子姉日向ヨリ東京行ノ途次來泊

三日(土) 事務所三月総決算書ヲ本部ニ送ル

大阪週報(四月十一日—十八日)

○保育室ヲ全部教場トナスタメ本日ヨリ大工手入ル ○晝視

十一日(日) 大阪府下救済事業主幹者協議會開催ノ件ニツキ富田

李ノタメ大原理事上販買収候補地見分、泉尾愛児園及九条保育

事務員博愛社ニ出席 ○夜学校教師井上信重君大阪高等工業

所ヲ參觀サル ○南区役所ヨリ大正三年度夜学校報告書提出

李校入學試験ニ及第セラル ○新事業設立候補地買収ノ件ニ

アリタキ旨通牒來ル

ツキ地主ヲ訪問セルモ旅行中ニテ要領ヲ得ズ

七日(水) 大原理事同道大阪府廳ニ出頭、小河博士ヲ訪問シ新事

十二日(月) 幻画不鮮明ニ付取替方寺田商店ニ交渉 ○新事業

業ノ件ニツキ指導アリタキ旨依頼セラル ○大阪府廳ヨリ大

設計ノ件ニツキ小河博士ヲ訪問ス

正三年度夜学校補助金辞令交附スベキニ付明八日出頭スベキ旨

十三日(火) 扶植會理事加島敏郎氏來訪 ○秋山操、安田龍江

通知來ル

両姉日向へ出發 ○大阪府救済研究会幹事會ニ付富田事務員

八日(木) 大阪府大正三年度慈惠金(第三回分) 中ヨリ金百五拾

府廳ニ出頭

圓夜学校ニ交附ノ令辞書ヲ受ク ○大阪府下救済事業主管者

十四日(水) 夜学校報告書ノ件ニツキ南区役所ニ出頭 ○救済

協議會開催方申請ノ件ニツキ富田事務員小河博士ヲ訪問ス

研究会幹事改撰ニツキ事務引継ノタメ後任幹事天野九条警察署

九日(金) 大阪市役所ヨリ夜学校補助金三十圓ヲ受領ス ○本

長ヲ九条署ニ訪問事務ヲ引継グ ○大阪府廳ニ小河博士訪問ス

部ヨリ汽船割引券到着 ○買収候補地買受交渉方ヲ佐々氏ニ

十五日(木) 南区役所ニ夜学校報告書ヲ呈出ス

依頼ス

○当夜学校卒業生ニ對シテハ公立小学校卒業生ト同ジク義務教

十日(土) 浪花教會大島操氏再入院兒ノ件ニツキ來訪 ○救済

育ヲ終了シタルモノト認定サル、コト、ナル

事業研究会開催富田事務員知事官舎ニ出席 ○大阪府救済事

十六日(金) 米店三月分決算會ヲ行フ、北店利益三十三圓六十二

錢、南店三十四圓四十四錢合計六十八圓六錢。大正三年度総利益金九百三十八圓九十四錢内移轉費二百三十八圓三十五錢及掛倒金南店七十四圓三十四錢北店分十八圓廿錢五厘ヲ差引クモ尚五百八圓四錢五厘ノ純利益金ヲ得、右決算書ヲ本部ニ送附ス
○府下救済事業主幹者協議会下相談會ノタメ約翰孝園ニ出席
十七日(土) 日本橋四丁目(目) 候補地坪六十圓ナラバ賣却スベシトノ返答來ル ○夜季校教授細目製作ノタメ教師会ヲ開ク
○夜季校入学生収容ノ場所ナキタメ入学ヲ謝絶ス

大阪週報(十八日―二十四日)

十八日(日) 大阪職業紹介所主事八濱徳三郎氏來訪 ○買取候補地檢分ニ赴ク ○退院児□□□□一身上ノ件ニツキ來訪ス

十九日(月) 本部ヨリ^(本府)抜記載ノ新聞四百部到着 ○夜季校ニ對スル大正三年度第三回分大阪府補助金百五十圓受領ス ○

土地買取方交渉成行ニツキ大原理事ニ報告書ヲ送ル
二十日(火) 寄附金ノ件ニツキ西成郡中津町下三番九三小山靖男氏來訪 ○土地買取候補地アリタルニヨリ檢分ニ赴ク ○

大阪府属林氏來訪
二十一日(水) 年報發送終了ス ○新候補地買取交渉ノタメ南

久宝寺町辻田富藏氏方ヲ訪問ス、四五日ノ後確答アル筈
二十三日(金) 救済研究会協議會打合会ノタメ富田事務員職業紹介所ニ出席 ○夜季校兒童ノ家庭訪問ヲ行フ
二十四日(土) 大阪府救済事業協議會ノタメ富田事務員、高塚校長、新田俱樂部ニ出席

× ×

夜季校狹隘ニツキ入学生ヲ毎夜拒絶シ居レリ、毎夜出席兒童數百五十名内外

(大正四年五月)

大阪分院週報(一日―八日)

一日 新事業土地買取ノタメ久宝寺町辻田富藏氏ヲ訪問ス ○大阪慈善同盟會相談會ノ件ニツキ職業紹介所ニ於ケル會議ニ出席

二日 夜季校報告書ノ件ニツキ南区役所事務課ニ出頭 ○救助人保護依頼ノタメ北区役所救恤課ニ出頭 ○救済研究会引継事務處理ノタメ府廳ニ出頭

三日 愛染橋夜季校報告書ヲ南区役所ニ差出ス
○大阪府救済事業同盟會評議員会ノタメ職業紹介所ニ出席

○奉公児申込二口

四日 炭谷姉基督教婦人会ノタメ上阪 ○夜孛校兒童ノ家庭訪問ヲナス

五日 四月分決算書ヲ本部ニ送ル ○慈善協會例会ノタメ職業

紹介所ニ出席 ○博愛社理事小橋実之助氏來訪 ○奉公児見廻ヲナス

六日 出身児□□□□□□□□□□主家ニ辛棒出來カタシトテ相談ニ來ル

○養女貰受希望一口 ○夜孛校兒童家庭訪問ヲナス。 聖書研究会ヲ行フ (職員ノタ)

八日 柿原君救済研究会出席ノタメ上阪 ○富田事務員研究会ノタメ知事官舎ニ出席 ○柿原君帰國 ○夜孛校毎夜出席

兒童數百五十名内外

大阪分院週報

九日(日) 大阪慈善同盟會ノ件ニツキ博愛社ニ集會ス

米店小僧さんのため聖書修養會ヲ開ク

十日(月) 新候補地ヲ檢分ニ赴ク

大阪府廳ニ小河博士ヲ訪問ス

奉公口二口申込

十一日 入院願一口アリタルモ断ハル

元保育児ノ家庭訪問ヲナス

十二日 新候補地價格ノ件ニツキ所有者ヲ訪問ス

十四日 小河博士ヲ訪問ス

格安ナル新候補地アリタルモ弘濟會門前ニツキ中止

神戸市中山手通六丁目(目) 池田保様より金五圓寄附セラル

十五日(土) 小河博士夜孛校ヲ參觀セラル

職員ノタメ聖書研究会ヲ開ク

夜間米屋小僧さんの為メ聖書修養會ヲ行フ

〈大正四年五月十八日消印、茶臼原孤兒院宛葉書〉

大阪分院週報

十六日(日) 夜孛校電燈メートル工事費ニ對スル承諾書ヲ電燈會社ニ發送ス

十七日(月) 大阪府ヨリ夕刊賣問題調査方富田事務員ニ囑托サレ

タルモ夜孛校勤務ノ為メ調査不便ニ付謝絶ノタメ大阪府廳ニ出

頭 ○幻画調製方交渉ノタメ小野田鎮氏來阪 ○高塚章子

姉本夜島ノ内教會ニテ日野氏ト結婚

十八日(火) 茶臼原ヨリノ帰還児□□□□□□子兒死去セルモ叔母

ノ世話トナリ以來通染物職見習中ノ由申來ル ○東京小林ラ

イオン店出火ニ付大阪支店ニ見舞ニ赴ク ○炭谷姉京都ヨリ

ノ帰途寄阪 ○台湾始政紀念博覧会ニ夜季校習字差出ベク旨
本部ヨリ通牒來ル

十九日(水) 幻画用写真本部ヨリ到着、寺田ニ注文ス

二十日(木) 新事業候補地アル旨報告アリタルニヨリ檢分ニ赴ク

二十一日(金) 京都奉公中ナリシ□□□□、□□□□の両女茶白

原へ帰還ノ途次來泊 ○買受地ニ於ケル居住細民立退問題研

究ノため中村難波署長ヲ訪問ス

(マ) 二十三日(土) □□□□君ヨリ□□□□姉ノ件ニツキ問合來ル

○職員聖書研究会ヲ開ク ○米屋決算会ヲ行フ利益金拾九圓

式錢五厘 ○決算書(米屋)ヲ本部ニ送ル

大阪分院週報

二十三日(日) 大阪府廳小山良喜知君來訪、赤野君來阪

二十四日(月) □□□□同伴富田事務員湯川姉ヲ訪問、赤野君婦

岡、奉公児巡視ヲナス、奉公児入用申込三口

二十五日(火) 大阪府下慈善同盟會評議員會開催富田事務員出席、

左ノ事項ヲ決議ス

- (1) 八月當府ニ於テ開催ノ運トナリタル一府五縣救済事業内務省講習會ニ就キ準備委員選舉ノ件
- (2) 救済事業主管者ニ限り無賃乗車券ノ配付方ヲ当局ニ稟議スルノ件
- (3) 會費トシテ各團

体ヨリ年耄圓徴収之件 (4) 各部會開催ノ件

二十六日(水) 小野田鎮氏上京ノ途次來阪 ○小野田氏同道富

田事務員博愛社ニ赴ク ○小野田氏午后九時出發東上

二十七日(木) 旧年度ライオン慈善券ニテ引換有効ニ付寄附方郡

是製糸会社ニ申送ル、賛助金振替傳票本部ニ送附 ○京阪神

聯合慈善事業懇和會(マ)ノ件ニツキ富田事務員神戸ニ赴ク

○貴子申込一口

二十八日(金) 夜季児童ノ家庭訪問ヲナス ○退院児童ノ家庭

訪問ヲナス ○富田事務員南区役所ニ出頭

二十九日(土) 台湾始政紀念博覧会ニ出品スベキ夜季校成績品ヲ

本部ニ送ル ○兼テヨリ逗留中ノ□□□□、□□□□の両女ヲ

岡山ニ出發セシム、夜季校毎夜出席者百五十名内外

大阪分院週報

三十一日 丹波郡是製糸会社波多野鶴吉様ヨリライオン慈善券八

百參拾枚ヲ寄贈セラル、賛助員田口虎之助様來訪昨々二年度分

賛助金四圓拜受 ○來ル八月開催全國教育大会出席方通牒南

区役所ヨリ到着 ○午后十一時ヨリ一時半迄ノ間ニ於テ竊盜

天憲ヨリ忍入北店在金百餘圓竊取サル

〈大正四年六月〉

三日 夜学校生徒引率物産博覧会及動物園ノ無料參觀ヲナサシメ
沢山ノ寄贈物品ヲ受ク、各兒童分取ス

五日 慈善協会例会ヲ當事務所ニテ開催ス。 ○竹田七治郎氏

令嬢永眠ニツキ高塚君葬送ス ○職員聖書研究会ヲ開ク

七日 手塚君東京ヨリ帰途寄阪即夜岡山ニ出發 ○堂島取引

所安川康夫様ヨリ鉛筆數百本ノ寄贈ヲ受ク、夜学校生徒ニ分配
ス ○島之内教会青年会ヲ當所ニテ開ク

八日 貧兒入院依頼一口、資格アリト思料シ正規の手續書類請求

九日 新事業土地買入ノ件ニツキ地主代理人ヲ訪問 ○同上ノ

件ニツキ中村署長ヲ訪問

十日 □□□□縁談ノ件ニツキ京都へ富田出張

十一日 新事業設計ノ件ニツキ府廳ニ出張

十二日 救済研究会ノタメ知事官舎ニ出席 ○職員聖書研究会

ヲ行フ ○夜小僧さんのため修徳会ヲナス ○□□□□女

膳本送付方ヲ本部ニ申送ル

大阪分院週報(十三日—十九日)

十三日(日) 出身者□□□□(本部ノ紹介ニヨリ當地から就職せ

しめ居りたるもの)電車掌殴打事件ノタメ堀川監獄未決監ニ拘

置さる ○女子貰受ニ口断はる

十四日(月) □□□□殴打事件告訴取下示談トシテ金十圓ヲ立替

貸與す(本訴となれば岡山孤兒院名義も自然公表さる、こと、
なる故かくやに取計ふ)、負傷様程重傷 ○行路病人保護ノ

件ニツキ区役所ニ出張す

十五日 米屋五月分決算ヲ行フ南店収益拾圓九十八錢五厘、北店

利益十一圓六十三錢合計二十二圓六十一錢五厘、以上決算表ヲ
本部ニ送ル ○島之内教会の家庭集會を當事務所にて行ふ。

十六日(木) 土地購買の件ニつき地主を訪問ス、價格稍々高きに

つき折合つかず ○夜学校生徒の本籍地調査をなす。

十八日(金) 夜学校生徒百六名ニ對シ第二期公種痘施行の届書を

南区役所ニ差出す ○盲兒院設立につき右手續規則等相談の

ため市盲啞学校内海渚氏來訪 ○救済手續承合のため西区役

所ニ出張

十九日(土) 新事業設計の件ニつき小河博士來訪、乳兒保育の間

取ニつき注意せらる ○日本橋五丁目(目) 東手土地談判不

調となる、但シ他候補地ニケ所出來す

夜学校毎夜出席百五拾名内外

大阪週報(廿日—廿六日)

○二十日(日) 當地丹平ニ奉公中ノ□□□□、主家ヨリ暇ヲトリ故

里ニテ賣藥營業ヲナス目的ニテ福岡縣田川郡宮床豊國炭坑北海
道第二十七番舎□□方ニ帰ル ○○富田事務員島之内教會
夜の集ニテ人格の響ト題シ故院長の人格及其事業を紹介ス

○廿一日(月) 郡是製糸ノ□□□□女ヨリ兄道榮母難渋シ居ルニ
ツキ保育所洗濯姆採用アリタキ旨申來ル ○○退院兒□□□□
□就職方依頼ノタメ來訪

○廿二日(火) 入院依頼兒身元取調のタメ富田事務員兵庫縣川辺
郡小田村常光寺□□□□殿方訪問乳兒就籍ノ手續ナク且ツ發育
不充分岡山捌送危険ト鑿定セシニヨリ今一ヶ月親許ニテ養育ノ
上相談スベキ旨約束ス ○○新事業地面買入方交渉ノタメ神戸
農行(工) 銀行ニ出張

廿三日(水) 新事業土地ノ件ニツキ大原理事ニ其後経過ヲ報告ス
○□□□□再入院申込アリ、事情許可スヘキモノト思料シ入院
ヲ許ス、月末頃藤井捨吉君日向行ニ托シ茶臼原ニ輸送ノ積

廿四日(木) 救済事業講習會出席人氏名申出スベキ旨南区役所ヨ
リ申來ル

廿五日(金) 感化救済事業講習會出席者氏名ヲ区役所ニ差出ス

○京都淀町木下タカ様ヨリ賛助金ノ件ニツキ問合アリ本部ニ移
牒ス ○○大原理事上阪新事業ニツキ相談ス ○植田小兒
科医新事業特志医師タルベキコトヲ申込マル

廿六日(土) 大阪府慈善同盟會評議員會開催富田事務員出席

○□□□□日向ニ帰リタシト申來ル ○○救済研究会記者小
山良喜知氏來訪 ○○小河博士ヲ私邸ニ訪問ス

○○職員聖書研究会ヲ行フ ○○夜間米屋小僧サンノ爲メ修養
會ヲ行フ ○○夜学校平均百五十名位出席

大阪分院週報(二十八日―三日)

二十八日(月) 神戸孤兒院ヨリ保姆周旋方ノ依頼ヲ受ケタルニヨ
リ天下茶屋ニ山口技師ヲ訪問ス ○○約翰李園早川牧師京都平
安女学校長ニ轉任ニツキ送別會ニ赴ク

二十九日(火) 南区難波芦原町新田長治郎氏ヨリ令嬢永眠紀念ト
シテ金五十圓府廳經由寄附セラル ○○内務省主催ニ府八縣感
化救済事業講習會出席者勸(歎)迎方ニツキ府廳ニテ委員會開
催富田事務員出席

三十日(水) 富田事務員新田長治郎氏訪問、寄附金謝札ヲ述ベ写
真帖ヲ贈呈ス ○○南区役所ニ夜学校報告書ヲ差出ス ○○事
務員希望の者一名來訪

(大正四年七月)

七月一日(木) 小河博士來訪 ○○夜学校病児ノ見舞ニ赴ク
○○当夜ヨリ夜学校ヲ七時半始ト改ム

七月二日(金) 感化救済事業講習生歓迎会ノ件ニツキ府廳ニ於テ
委員会開催富田出席

○不参兒童出席方奨励ノ爲メ家庭訪問ヲナス

七月三日(土) 毎日新聞慈善團ヨリ金参拾圓ヲ寄附セラル ○

南区役所ヨリ夜学校生徒種痘旨七時ヨリ当校ニ出張施行スヘキ
旨通知アリ ○事務所六月分決算書ヲ本部ニ送ル ○職員

ノ聖書研究 夜少年のため修養会ヲ行フ

大阪分院週報(十二日―十八日)

十二日(月) 内務省主催感化救済事業講習會開催ニツキ高塚、福

井、井上、富田ノ四名全會ニ出席 ○入院申込一口アリタル

モ資格無シト思料シ断ハル ○本日ヨリ夜学校ヲ二時間ト改

ム

十三日(火) 講習會ノタメ出席

十四日(水) 講習會後、泉尾愛兒園、九条保育所、全済生会診療

所、全盲人會、四貫島保育所、全曉明館労働寄宿舎視察ノタメ
講習員ノ案内及説明ヲナス

十五日(木) 出身兒□□□支那へ渡航シタシトテ無錢着阪ス

○再入院兒□□□ノ戸籍謄本ヲ本部ニ送ル、但シ同兒ハ先般

藤井捨吉氏同伴日向へ向ヒタルモノ

十七日(金) □□□ヲ日向ニ送りテハ如何ヤト思料シ本部ニ出

發セシム ○米屋六月分決算会ヲ行フ、南店利益拾八圓参拾

八錢、北店参拾七圓五拾四錢五厘、計金五拾五圓九十一錢五厘、

以上決算書ヲ本部ニ送ル ○講習會後基督教徒ノ懇談会ヲ雲

水ニ開催富田出席 ○セントヨセフ教育院及盲啞学校視察

十八日(日) 講習員ノタメ御陵参拝及京都平安徳義会孤兒院及救

世病院ノ視察案内ヲナス

○右開散後十一月御大典ニ際シ開催さるべき全國救済事業大會
準備ノ件ニツキ相談会ヲ開ク

大阪分院週報

十八日(日) 内務省主催感化救済事業第一回地方講習會員ヲ案内、

御陵参拝後京都慈善團體ノ見学ニ赴ク ○十一月開催の豫定

なる中央慈善協會大会(京都ニテ御大典の際) 打合ノ件ニツキ

内務省生江、相田両囑托及京阪世話係協議ノタメ富田事務員出

席

十九日(月) 夜学校生徒ニ對シ公種痘ヲ行フ

二十日(火) 講習會終了後外島癩病院ニ講習員ヲ案内

二十一日(水) 大阪監獄視察後、貧兒教育家懇談会出席ノタメ富

田事務員心華学校ニ赴ク

○商船会社掲置慈善函開函在金二圓十錢

二十二日(木) 内務省地方講習会本日にて終了

二十三日(金) 奉公児貰受希望二口断ハル

○入院申込一口資格不充分ト思料断ル

○小河博士ヲ訪問

二十四日(土) 夏季大清潔法施行 ○入院申込一口断ル

(大正四年八月)

大阪週報

八日(日) 博愛社夜季校附属日曜季校ノタメ富田出席 △慈善

新報社北野職業紹介所、不動寺保育所、鳴尾篤志季舎ヲ參觀ス

九日(月) 赤野君來阪 △小野田一名ニ割引切符式葉大分ニ向

ケ送附 △本部へ依頼ノ写真帖二部到着 △檜部様御寄附

ニ對シテ礼状証書百五十枚ヲ岡山ヨリ差出ヲ乞フタメ本部ニ送
ル

十日 赤野君帰岡

十一日 芦屋ニ谷本博士ヲ訪問ス

十三日 一月以降五十圓以上ノ寄附者ヲ大阪府ニ通知ス △内

務省生江囁托ヨリ岡山孤児里子ノ起原条件結果成績等詳細ナル

問合状來ル

十四日 里子ニ関スル詳細ナル通知ヲ生江氏ニ發送ス

救済研究会例会ニツキ知事官舎ニ出席(大正四年八月十六日消
印、茶臼原孤児院宛葉書)

大阪週報(十五日―廿一日)

十五日 大正四年度豫算書岡山本部ヨリ到着

十六日 □□□□□□發病ノ疑アリ外島保養院入院方交渉ノ件本

部ヨリ申來ル、戸籍謄本及入院事由書送附アリタキ旨申送ル

十七日 行路病者救助ノ件ニツキ区役所ニ出頭、入院申込一口無

資格ト思料断ハル

十九日 山室救世軍大佐來訪

二十日 □□□□□□外島入院ノ件見合方本部ヨリ申來ル ○

井上長年君奈良集金ヲ了來阪 ○米店七月分決算会ヲ行フ、

北店利益廿一圓十六錢、南店利益六圓九十八錢五厘、合計金貳

十八圓十五錢五厘 ○右決算表本部ニ送附

二十一日 茶臼原ヨリノ依頼ニヨリ院兒□□□□引取は引取先兵庫

縣川辺郡小田村常光寺□□□□ノ身元調ニ赴クニ要事良好ト思慮

送還アルベキ旨申送ル ○府廳ニ小河博士ヲ訪問來月救済研

究会講師山室氏招聘ノ相談ヲナス

(大正四年八月二十二日消印、茶臼原孤児院宛葉書)

大阪分院週報

廿二日(日) 出身者□□□□大阪にては警察よりの監督厳しきため就業六ヶ敷再三解雇の運命ニ陥れる由申來り、幸ひ養父の居所分明志多るにより東京へ出發致度旅費救助方依頼し來る、一應熟考すべき旨申聞立歸らしむ

○廣島縣あき郡音戸町□□□及同人妻□□なる長男□□(大正一年八月生)を同居者の許ニ棄置踪跡をくらませるにより原籍地ニ引取方掛合せるも祖父赤貧にて引取難き旨申來れるにより入院許可あり多き旨南区日本橋筋五丁(目)□□^稱□□^一□□^人□□^名□□

□より申出づ、正規の手續取運再度申出相成旨申聞け置く
○□□□窮状憐愍なると且つ捨置ときは更ニ不良の結果を生ずるものと思料、旅費を給與し東京ニ發せしむ

二十三日(月) 南区役所仁木書記報告書の件二つき來訪 ○富田市役所庶務課ニ出頭

二十四日(火) 高塚甲子太郎君下岡 ○秋山みさを姉救世軍營の目的にて東上の途次來泊

二十五日(水) 新設救世軍大阪免囚保護事業主任中根峯吉氏及後藤大尉同道來訪、同事業設定の場所ニ関する卑見を求めらる
二十六日(木) 富田岡山へ出發

二十八日(土) 新事業の件二つき大原理事ニ面談す
二十九日(日) 高塚君大阪ニ歸る

大阪分院週報(三十日—九月九日)

三十日(月) 富田岡山ヨリ歸阪

三十一日(火) 秋山操、柳川平七ノ両氏救世軍士官李校入李の爲

メ東京ニ出發

(大正四年九月)

一日(水) 夜李校新任教師保井セイ子姉來任第二李年ヲ受持タル

(同姉ハ和歌山縣ノ人、梅花女李校卒業後和歌山にて教員奉職無試験定本科正教員有資格者年齢廿四歳) ○助教師井上重

信氏大阪高等工業李校ニ入李

二日(木) 愛染橋夜李校ノ件ニツキ地方課ニ出頭 ○小河博士來訪 ○事務所決算表ヲ本部ニ送ル

大阪分院日誌

十三日 保井セイ子姉市公立李校へ奉職セラル、コト、ナリシニ付退職、新任教師渡辺伊郎氏(岡山師範学校出身)來任 ○島根縣□□□貧窮ニシテ不具歸郷旅費ナキタメ救助ヲ乞ヒ來ル、府廳宇野資金ヨリ參圓ノ支出ヲ乞ヒ郷里ニ歸ラシム

十四日 救世軍新事業大阪免囚保護會主任中根峯吉氏來訪 ○

手塚麒一君及北海道へ帰還児□□□日向ヨリ來着 ○下女申

込一口断ハル

十五日 河内府屬來訪 ○老衰者救護方願出手續ノタメ南区役

所ニ出頭 ○見習生一名申(注・途切れる)

大阪週報

二十七日 在阪職員ノ撮影ヲナス ○府補助金下附請願ノ件ニ

ツキ委員會開催富田出席

二十八日 准孤兒入院申込一口正規手續履行ノ上決定スヘキ旨申

聞ク ○生徒ノ家庭訪問ヲナス

二十九日 小河博士ヲ訪問ス

三十日 佐久間武男君内室エツ姉昨日永眠本日會葬ス ○夜李

校生徒ノ家庭訪問ヲナス

(大正四年一〇月)

十月一日 免囚保護事業主任中根峯吉氏來訪

○置去兎收容申込アリ警察署ノ証明及原籍親族ニ養育ノ能力ナ

キ旨役場ノ証明書到着セバ收容スベキ旨申聞カス ○川田府

屬來訪

大阪分院週報(大正四年十月十七日付)

十一日 北区堂島取引所安川彦夫様ヨリ鉛筆式百五十本ヲ寄附セ

ラル ○救世軍免囚保護事業主任中根峯吉氏來訪 ○佐久

間武男君來訪

十三日 岡山ヨリ天倉一割減復旧ノ旨申來ル

○□□女上阪求職の旨茶臼原ヨリ書面到着中止アリタキ由打

電ス ○佐久間武男君一家引マトメ武州川越ノ親戚ニ向ケ出

發セラル ○夜李校兒童ノ家庭調査ヲナス

十四日 □□君同伴□□□女□□女上阪 ○□□□女ヲ

実兄□□□ニ引渡ス ○窮民保護ノ件ニツキ南区役所恤救課

ヲ訪問ス

十五日 京都ニテ静養中ナリシ手塚君全快本日來阪サル ○府

屬林田書記來訪

十六日 米屋決算會ヲ行フ、九月分利益四拾一圓十七錢 ○慈

善協會例会約翰李園ニテ開催富田出席 ○手塚君奈良經由京

都ニ出發十八日帰阪ノ筈

大阪週報

十八日 兼而紹介中□□□女倉紡ニ採用スベキ旨通知來ル

○李務ノ件ニツキ南区役所ニ出頭

十九日 本部ヨリ朝鮮ニ於テ本山彦一氏経営ノ農場視察ノ件ニツ

キ本山氏宅訪問スベキ旨電話來ル ○市役所ノ通牒ニ對シ現

在夜李校生徒百六十名學年及男女別表ヲ差出ス ○手塚君京

都ヨリ來訪 ○毎日新聞社ヲ訪問ス

二十日 本山氏宅訪問ノタメ濱寺ニ赴ク

二十一日 手塚君特記材料蒐集ノタメ奈良ニ出發 ○御大典式

場拜觀方ニツキ区役所ヨリ夜李校ニ對シ通牒來ル ○上阪中

ノ□□□□氏帰向

二十二日 府廳ニ出頭 ○兒童貰受希望一口

二十三日 御大典紀念全國慈善事業大会及中央慈善協會總會參列

方ノ件ニツキ通牒來ル

○兒童収容方申込一口断ハル

二十四日 □□□□女ヲ岡山ニ送ル ○手塚君京都ヨリ來阪

○兒童貰受希望一口断ハル

大阪分院週報

十月三十一日 救世軍免囚保護事業希望館開館式ニ參列全國慈善

事業大会出席の通知狀ヲ差出ス ○東平野尋常高等小學校訓

導岩崎佐一氏來訪 ○佐久間武男氏令息耕様永眠ノ通知來ル

〈大正四年十一月〉

十一月一日 西内牧師同道南区貧民町を訪問ス ○婦人矯風会ヨ

リノ問合ニ對シ夜李校生徒の現在數を同会ニ通知す ○老貧

者収容方依頼のため南区役所ニ出頭

二日 十月分事務所夜李校決算書を本部ニ送ル

○夜李校終了後西内氏を案内、鶯田賣淫窟探ニ赴ク

○西内氏同伴今宮自彊館を訪問シ寄泊者の実況を參觀す

四日 西内師同道博愛社を訪問ス

○大阪市長より市奉祝会宴会招待狀來ル

○大阪市役所衛生課ニ出頭

五日 扶植會ニ於ケル慈善協會例会ニ出席、八濱當番講師の社会

三権論ノ講話を聞く

○婦人矯風会ヨリ夜李校ニ對シ奉祝國旗百六十六箇ノ寄贈ヲ受

ク

七日 中央慈善協會員トシテ御所建禮門ニ^{不明}□□を拝觀す

○慈善事業大会出席証到着

八日 癩病ノ恐アル里子□□□□□□□□診斷の結果同病に確定せり、

外島保養院ニ収容方許可スベシトノ事ナリ、今日ニモ至急診斷

アリタキ旨本部ニ申送ル

○夜李校生徒ノ家庭訪問ヲナス

九日 栢山玉姆同伴送還兎□□□□□□着阪

○外山府囑來訪

十日 大典祝賀式典後生徒ニ菓子包分與ス

○叔父尼ヶ崎ヨリ來訪

十一日 南区安堂寺橋通一丁目(目) 山本爲助様ヨリ大典本祝紀

念トシテ夜孝校生徒ニ對シ金式拾圓寄附せらる ○奉公児巡

視ヲ行ふ

十二日 江戸堀東江小孝校々々長江田定吉氏來訪、夜孝校生徒ニ對

シ紅白祝餅百五十五箇寄附せらる ○石田主婦、様

來阪

十三日 石田主婦、午後八時の汽車にて出發

十四日 大阪婦人矯風会ヨリ饅(饅) 頭一箱手拭一筋夜孝校生徒

ニ對シ百六十一人分寄贈せらる ○小野田、松本、富田京都

慈善事業大会參列ノタメ京都ニ出張

十五日 全國慈善事業大会京都市役所ニテ開催。小野田、松本、

長野、富田參列

十六日 中央慈善協會總會京都市役所にて開催 四人出席

十七日 徒弟貰受希望二口断ハル ○入院申込一口断ハル

十八日 小野田、松本両君同伴約翰李園參觀

○大阪市長主催市奉祝会宴会ニ富田出席

○職業紹介所に於て大阪府救済事業同盟会評議員開催富田出席

○(里子) 外島保養院入院方交渉ノ件ニツキ本部

ヨリ照會來ル

十九日 小野田、松本両君同伴博愛社及修徳館參觀 ○長野君

京都ヨリ帰阪

二十日 小野田、松本両君岡山へ出發 ○十月分米屋決算を行

フ、北店利益四拾圓四拾八錢、南店利益式拾四圓參拾式錢五厘

大阪分院週報

二十一日 米屋九月分決算書ヲ本部ニ送ル、北店利益四十圓四拾

八錢、南店利益式拾四圓參拾九錢五厘、合計六拾四圓八拾七錢

五厘

○星野定助翁永眠、本部及茶臼原ニ通知ス

○富田事務員星野氏宅へ弔詞及手傳ニ赴ク

二十二日 星野定助翁葬送のため富田夫妻会葬

二十三日 岡山より贈本到着

○收容方依頼のため外島保養院訪問、取調の結果

同児父ハ昨年收容中死亡し居ることを發見し、癩患者收容法規

ニ基き岡山縣へし(注・これにて途切れる)

(大正四年十二月)

大阪分院週報

五日 大島三郎氏岡山ニ出發

六日 本部より写真帖二冊到着 ○大阪救済事業同盟會評議員

會開催、兼而決議セル孤貧児行商行為取締ニ関スル建議案の起

草を富田ニ依托

七日 日向より□□□氏來阪 ○夜李校欠席児童ノ家庭訪問

をなす。○市内年掛賛助金受領ニ関シ手續引合の準備をなす。

八日 □□□□□診察ニツキ外島癩病院より申入あり、本部ニ

通報す ○夜李校の件ニツキ区役所(注：こゝで途切れる。)

〈大正五年一月〉

大阪分院週報 二回分

一月一日 午前九時ヨリ夜李校新年祝賀式舉行、富田教師訓話ヲ

ナシ出席、生徒ニ密(蜜)柑ヲ分與ス ○市内同情家先二年

始回礼ニ赴ク

二日 年始回礼

三日 年始回礼 ○茶臼原ヨリノ申越ニヨリ商船会社ニ岩村悦

郎君割引願書ヲ届出ス(但シ赤野氏割引人名削除)

四日 夜李校調書ヲ南区役所ニ差出ス

六日 相談ノタメ富田岡山及倉敷ニ出發

八日 大原理事ニ面会大阪新事業計画ニツキ相談、設計ニ着手ス

ルコト、ナル

九日 茶臼原ヨリノ送還児□□□□同伴富田岡山ヨリ帰阪

十日 商船会社ニ篠原長行氏削除百田孟一君追加割引届ヲナス

○大阪府廳ニ小河博士ヲ訪問、新事業設計ノ件ニツキ助力ヲ願

フ ○私生児収容方請求アリ事情聴取断ハル

十一日 倉紡大阪支店小野氏取次無名ニテ金百圓寄附アリ ○

徒弟雇人希望ニ口 ○同情家先ニ病人アリ見舞ニ赴ク

十二日 □□□□高知港出迎ノ件ニツキ引取人申川秋豊氏ニ打電

ス ○癩患児□□□□外島保養院回答ノ件ニツキ岡山ニ

通報ス ○先般送還セル□□氏女戸籍引取方ニツキ全人兄ヨ

リ交渉來ル事情申述へ原籍地ニ照合スベキ旨申送ル

十三日 大阪府下救済同盟會新年懇談會開催ノ件ニツキ下協議會

ヲ開ク ○新事業候補地視察ニ赴ク ○高林書記來訪

十四日 □□□□本日高知ニ向け出發

〈大正五年二月〉

大阪分院半月報

二月十五日 倉紡小野氏宅ヲ訪問ス ○府廳ニ小河博士ヲ訪問

ス

十六日 下村婦京都ヨリ帰阪即日高知ニ出發

○府下豊崎町役場ヨリ棄児収容方申込アリタルモ養育料ヲ請求せるに因り事やみとなる

○八濱徳三郎職業紹介所主事來訪

十七日 大正四年十二月分及大正五年一月分決算書ヲ本部ニ送附

○小橋博愛社長來訪

十八日 兼テ注文アリシ書籍ヲ茶臼原ニ送附ス ○夜季校生徒

ノ家庭ヲ訪問ヲナス ○弘済会保育所ヲ參觀ス

十九日 詫古新永眠通知來ル ○夜季校生徒家庭訪問ヲ行フ

○季務ノ件ニツキ区役所季務課ニ出頭ス

廿日 博愛社よりの招聘により日曜日夜集会ノ講演ニ出席ス

廿二日 一月分白米部決算決算ヲ行ふ、南店利益八圓五十九錢、

北店利益三拾六圓八拾貳錢五厘 ○夜季校生徒流行性感冒ニ罹るもの多し、病氣見舞ニ廻る

廿三日 大阪府下救済事業同盟会幹部会大阪婦人ホームにて開催、

富田出席

重々訓令あり多き旨知事ニ稟議するの件

○市町村をして棄児養育料支弁の義務を負担せしむことニつき

各団体歩調を同一ニすべき件

廿七日 下村婦土佐より帰阪 ○幼稚園ニ関する諸法規承合の

ため市役所ニ出頭 ○同上の目的により府廳季務課ニ出頭

廿八日 下村婦岡山へ出發 ○賣拂はるべき大阪女季校校舎の
検分ニ赴く

廿九日 二月分決算書ヲ本部ニ送ル

〈大正五年三月〉

大阪分院旬報

一日 建築設計ノタメ心華小季校及徳風小季校建物參觀

三日 引取方申出ノタメ里子親□□□母來訪、大正四年年報ヲ本

部ニ送ル。御津幼稚園建物參觀

四日 知事官舎ニ於ケル救済事業研究会ニ出席

五日 岡山市視季來訪、府廳小河博士ヲ訪問

七日 詫古氏來訪、岡井視季夜季校視察

八日 大阪慈善事業同盟会委員会開催富田出席。川村府屬來訪。

行路病者救助ノ件ニツキ区役所ニ出頭

十日 新事業設計書を作製ス

大阪事務所旬報

十一日 慈善協會例會当事務所にて開催、富田當番講師ゆゑに

つくすと慈善事業と(の)関係につき講演、夜行にて富田新事

業設計書携帶岡山ニ赴ク

十四日 松尾主婦、岩村おすがさん同道富田岡山ヨリ帰阪、当夜
慈善同盟會委員會開催ニツキ富田出席、夜学校生徒ノ工場ニ於
ケル夜業禁止ニツキ協議、小橋富田兩名陳状(情)委員トシテ
知事訪問ノコトナル

十五日 引取請求申出ニツキ本部ニ旅費送附スベキ旨山田トヨニ
通報ス、商船会社割引ノ件ニツキ願書作製、調印ノタメ理事ニ
送附

十六日 福井夜学校教師急性肺炎ニテ病重シ徹宵看護

十七日 久世ヨリ看病ノタメ福井玉子姉全母君潤氏來阪、佐藤主
婦九州ヨリ來阪

十九日 夜学校生徒児童調査表ヲ南区役所ニ差出ス

二十日 新事業土地買取下調ノタメ神戸農工ニ出頭、神戸孤児院
ヲ訪問ス、二月分米屋決算会ヲ行フ (大正五年三月二〇日消
印、茶臼原孤児院宛葉書)

大阪分院旬報

廿日 新事業土地買取ノ件ニツキ神戸農工銀行ニ出張、二月分白
米部決算ヲ行フ、九十七圓四錢五厘

廿二日 新事業土地圖面書取調ノタメ南区役所及稅務署ニ出頭

廿三日 松尾、佐藤両主婦及岩村嬢京都へ出發。鷹津君來阪。新
事業調査ノタメ市役所ニ出頭

廿四日 鷹津君帰岡。新事業設計相談ノタメ府廳ニ小河博士訪問。
夜学校ノ修業證書授與式舉行。松尾、佐藤、岩村三姉岡山ニ出
發

廿五日 長崎市淳心園主佐々木祐俊師來訪

廿六日 送還児□□□ヲ其実母ニ引渡ス。中外通信記者來訪

廿七日 夜学校生徒夜業禁止方工場主へ訓辭アリタキ旨請願ノ件
ニツキ富田、小橋両委員大阪府知事訪問

廿八日 富田岡山ニ出發、新事業ノ件ニツキ理事ニ相談ス

廿九日 倉紡保育所參かん

三十日 富田岡山ヨリ帰阪。夜小河博士邸訪問。市役所ヨリ補助
金四十圓夜学校ニ交附

三十一日 大阪商船ニ割引願書呈出。小河博士ヲ私邸ニ訪問。神
戸ニ田村評議員訪問。神戸保育所參かん (大正五年四月二日
消印、茶臼原孤児院宛葉書)

(大正五年四月)

大阪分院半月報

四月一日 大阪商船会社ヨリ割引許可ノ通知來ル、印刷及理事調

印ノ上各部ニ送附アリタキ旨本部ニ申送ル ○夜学校本日ヨ
リ始業

二日 茶臼原ヨリ送還児□□□□手荷物紛失ニツキ商船群山丸ニ
引渡方交渉ノタメ本人同伴川口ニ赴ク

三日 □□□□附添富田大津ニ出張、太湖丸ニ乗船セシメ万事ヲ
同船事務長ニ依頼シ帰ル□□□□ヨリ安着ノ電報來ル

五日 三月分決算書ヲ本部ニ送附、大阪市区役所事務課ヨリ大正
四年度補助金四十圓（夜学校ノ）ヲ受領

六日 東京市日本橋区兜町高岡善次郎氏ヨリ金參拾圓夜学校ニ寄
附セラル

○新事業用土地買収方ノ件ニツキ垂水ニ田村新吉氏ヲ訪問ス不
在

○大正四年度後期分夜学校補助金百五十圓下附ノ旨大阪府ヨリ
辞令書到着

七日 神戸ニ田村氏ヲ訪問シ土地買収方ノ件ニツキ農工銀行（土
地持主）ニ交渉ヲ乞ヒ快諾ヲ受ク

○公私立学校表ヲ南区役所ニ差出ス

八日 救済事業研究会列席ノタメ富田知事官舎ニ出頭
○救民救助ノ件ニツキ南区役所ニ出頭

九日 大阪府下救済事業同盟会不動寺ニテ開會富田事務員出席、

孤貧児行商取締方建議ニツキ主調委員及盲人保護法取調ノ件ニ
ツキ主調ヲ依托サル

十日 同盟会ノ依托ニヨリ盲人保護ニ関スル内務省内達ノ件ニツ
キ取調ノタメ大阪府廳衛生課長ヲ訪問ス

○夜学校生徒欠席者ノ家庭訪問ヲナス

十一日 大阪市役所ヨリ大正五年度経費豫算及事業提要報告スベ
キ旨申來ル

○夜学校生徒欠席者ノ家庭訪問ヲナス

十二日 夜学校児童調査表ヲ南区役所ニ差出ス夜学校五年度豫算
及概要報告書ヲ市役所ニ提出ス

○林大阪府屬來訪

十四日 大原理事上阪新事業ノ件ニツキ相談

○府廳ニ小河博士ヲ訪問ス

○南区役所ニ夜学校四年度調査報告ヲ差出ス

○兼而辞令交付ニ接セシ府補助金後期分百五十圓受領

○水道料免除繼續願ヲ市役所ニ差出ス

十五日 本部ニ大阪市内賛助員数ヲ報告ス其数二百九十三名

○□□□□手荷物ノ件ニツキ茶臼原ヨリノ依頼ニヨリ更ニ商船
会社ニ交渉ス

○救世軍希望館ニテ慈善事業協会月報会開會婦人問題ニツキ研

究会ヲ開ク富田出席

同四月二十日 至五月廿日 大阪通信

二十日 奉公児□□安住薬局ヨリ退店スルコト、ナリ同人積立

賞典金百壹圓四十一錢ヲ受取、□□婦國暇乞ノタメ來訪

二十二日 島之内教会婦人會ヲ當事務所ニテ開催

二十三日 愛染橋土地買入交渉ノタメ神戸ニ出張

二十六日 □□□□訓戒ノタメ壇上(氏)ヨリ同人ヲ引取ル

○南区役所ニ夜孛校生徒種痘人員ノ届出ヲナス

二十八日 大原理事來阪、府廳ニ小河博士及知事ヲ訪問

○評議員会出席及東都救済事業視察ノタメ富田大原理事ニ随行

東京ニ出發

二十九日 ペテー氏ニテ評議會開催。ペテー、ミュラー、徳富ノ

三議員列席左件ヲ承認議決サル

(一)大正四年度決算ノ承認

(二)大阪新事業ヲ岡山孤兒院ヨリ分離シ別箇ノ財團トナスコト

(三)有吉、小河、兒島、大庭ノ四氏ヲ評議員ニ依頼スルコト

(大正五年五月)

五月中

一日 富田内務省及東京府廳ニ出張

○万年小孛校、玉姫小孛校及保育所同情園ヲ參觀ス

二日 三井病院、救世軍病院、東京職業紹介所、辛亥救済會保育

所、月島労働寄宿舎參觀

三日 東京市養育院巢鴨分院、櫻楓會托児所參觀

四日 横浜孤兒院、横浜保育院、横浜市救護所參觀

五日 二葉幼稚園、救世軍士官孛校、^(小南)板橋幼兒保護場參觀

六日 内務省ニ出張

七日 東京出發歸阪ノ途ニツク

九日 □□ノ件ニツキ壇上氏ヲ訪問

十日 四月分決算書ヲ本部ニ送附

十一日 買入土地協定ノタメ日高氏來訪

十三日 救済事業研究会ノタメ知事官邸ニ出張、東京救済事業視

察談ヲナス

十五日 夜孛校生徒第二孛年以上九十一名ヲ引拵四篠畷ニ修孛旅

行ヲナス

十六日 府廳ニ小河博士ヲ訪問、孤兒院評議員囑托ノ件及大阪事

業分離ノ次第ヲ報告ス

○武蔵川越ニ居住サレシ佐久間武男君職ヲ求メテ大阪ニ來ラル

十七日 信永氏送出ノモートル到着

○夜学校生徒ノ家庭訪問ヲナス

○夜学校生徒□□□□□□□□□□ノ三人行学

術優良ニツキ新報社ヨリ表彰反物一反宛ヲ貰フ

十八日 米屋決算会ヲ行フ、四月分純利益北店七十四圓四十六錢

五厘、南店二十七圓六十一錢五厘、合計百一圓五十八錢

十九日 大阪慈善同盟会月例会婦人ホームニテ開催富田出席